

第 2 次山形県地域医療再生計画における主な取組みについて

目標及び進捗状況		平成 26 年度の主な取組み、評価及び今後の推進方向		
【医師確保対策関係】				
項 目	現 状 (計画策定時)	目標 (上段)		
		実績 (下段)		
		25 年度	26 年度	27 年度
本県の人口 10 万人当たりの医師数	221.5 人 《全国 230.4 人》 (平成 22 年)	—	全国平均 以上	—
		225.5 人 《全国 237.8 人》 (※)		
医師修学資金等貸与者数 (累計)	139 人 (平成 24 年度)	156 人	171 人	186 人
		169 人	181 人	
※印は平成 24 年の数値				
【平成 26 年度の主な取組み】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒後一定期間、県内医療機関での勤務を義務づけることを条件に、医学生等に対し修学資金を貸与（新規 14 人、継続 84 人） ・ 地域医療システム講座を地域医療人キャリアアップ推進講座として発展させ、医師のキャリアアップに対する支援等を充実・強化 ・ 卒前臨床実習の一部を地域の中核病院等で実施する広域連携医学教育プログラムへの支援及び高校生を対象とした医療体験セミナーを同講座内の事業として実施（1 回開催 90 人参加） 				
【取組みの評価及び今後の推進方向】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師数は、山形大学医学部卒業医師の県内定着等により着実に増加しているものの、依然全国平均を下回っている。 ・ 山形大学医学部の地域枠導入に伴い、医師修学資金の貸付枠を拡大する。（15 人→23 人） 				

目標及び進捗状況				平成 26 年度の主な取組み、評価及び今後の推進方向		
【在宅医療の推進関係】				【平成 26 年度の主な取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療再生基金を活用した 9 在宅医療圏ごとの取組みへの支援を実施（36 団体に助成） ・ICTを活用した在宅医療連携体制構築への支援を実施（1 団体に助成） ・急変時における医療相談体制を確保するため、医療機関受診に関する電話相談を行う「大人の救急電話相談事業」を実施 【取組みの評価及び今後の推進方向】 <ul style="list-style-type: none"> ・各総合支庁を中心とする支援事業の実施により、各地域において在宅医療に取り組む団体や事業のすそ野が広がった。 ・引き続き、地域における在宅医療推進に係る取組への支援等を継続していく。 		
項目	現状 (計画策定時)	目標（上段）				
		実績（下段）				
		25 年度	26 年度			27 年度
往診（終日対応のできる）を行う医療機関数	289 (平成 24 年度)	300	310	320		
地域医療・介護等連携チーム設置市町村数	0 (平成 24 年度)	20	35	35		
		6	22			

目標及び進捗状況

平成 26 年度の主な取組み、評価及び今後の推進方向

【災害時の医療提供体制確保関係】

項目	現状 (計画策定時)	目標 (上段)		
		実績 (下段)		
		25 年度	26 年度	27 年度
広域 (航空) 搬送拠点臨時医療施設 (SCU) の数	0 (平成 24 年度)	1	2	2
人工透析医療機関における衛星電話の整備数	13 (平成 24 年度)	21	28	35

【平成 26 年度の主な取組み】

- ・各保健所において、地域災害医療コーディネーターリーダー、地域災害医療コーディネーターを中心に地域災害医療連絡調整会議を開催
- ・県内の災害医療コーディネーターを対象とした研修会を開催
- ・大規模災害発生時に備え、昨年度整備した山形空港に続き、庄内空港に航空搬送拠点臨時医療施設 (SCU) を整備
- ・人工透析医療機関における衛星電話の整備に対する支援を実施
- ・迅速な被災地への出動、災害現場での指揮機能の確保及び円滑な救護活動が行われるよう、基幹災害拠点病院等におけるDMAT救急車の整備を支援 (2 台)

【取組みの評価及び今後の推進方向】

- ・平成 26 年度の目標を概ね達成した。
- ・引き続き、災害時の医療提供体制の充実強化に向けた取組みを継続していく。